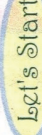


# Fusing Glass Jewel

## ミリアオリペンダント



★モリヤ ミリアオリの膨張係数 104×10<sup>-7</sup>



▲これらの手順が収録されている別売りDVD(48分)です。

●ミリアオリMIX TP3を棚板JW3につめて、かわいいいいいペンダントジュエリーを作ります。



⑥ア-B0X5Eに⑤の棚板を真ん中にセットし、電子レンジに入れ約7分(500Wの場合)まわします。ア-B0X5Eの上の空いている穴が明るいオレンジ色になるのが目安です。

⑦焼成した直後のア-B0X5Eは非常に高温(約950℃)になっているので、必ず軍手をしながら取り出し下下さい。取り出したア-B0X5Eは耐熱プレート板などの上に置きます。

⑧ア-B0X5Eを空けてみて焼成が良かったら、常温になるまでア-B0X5Eを約1時間程ゆっくりと冷まします。焼成が足らないようならば、もう1~2分程再加熱して下さい。

⑨ア-B0X5Eを空けてみて焼成が良かったら、常温になるまでア-B0X5Eを約1時間程ゆっくりと冷まします。焼成が足らないようならば、もう1~2分程再加熱して下さい。

⑩耐熱ペーパーに水をつけながらジュエリーの裏・側面に付いている離型剤を取り除きます。ガラスにバリ(尖り)がある場合は、ルーター工具(別売)で処理して下さい。

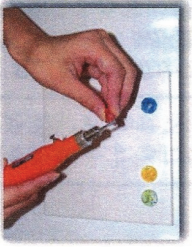
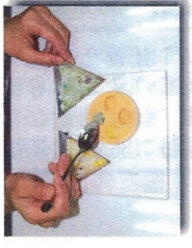
⑪接着剤(ボンド)を少し紙に絞り出して爪楊枝の先端につけて、ミリアオリの内側に塗ります。そこにガラスジュエリーをはめこんで、ミリアオリと接着します。

⑫リングに接着したガラスジュエリーに好みでチェーンやストラップを取付けて完成です。ペンダントトップとして、お手持ちのチェーンやチェーンに取り付けても良いです。

## BUF フリット 編



●ア-B0X5Eのガラスフリットとガラスを混ぜて、キラキラ光るジュエリーを作ります。  
★ア-B0X5Eの膨張係数 90×10<sup>-7</sup>  
※ミリアオリとは膨張係数が違うので、一緒に合わせての焼成は出来ません。



①膨張係数90のガラスフリットをGTア-レカーで、細かく加トします。ガラスが飛び散らないように小皿の上で作業します。ガラスをより細かくする場合は乳鉢を使います。

②ア-B0X5Eのガラスフリットを好みで選び、ア-B0X5Eで混ぜ合わせます。BUFフリットにはツグググと混ぜ合わせるものを入れます。焼成すると体積が減るので、あらかじめ盛り上げます。

③ア-B0X5Eの穴の中にガラスフリットを約7~8分焼成します。蓋を開けてみて焼成が足りない様ならば、更に2~3分焼成します。ア-B0X5Eの穴の中に入れて約6~7分焼成します。きれいに丸く焼けていたらゆっくりと蓋をしたまま冷まします。

④ア-B0X5Eに③の棚板をセットして約6~7分焼成します。きれいに丸く焼けていたらゆっくりと蓋をしたまま冷まします。

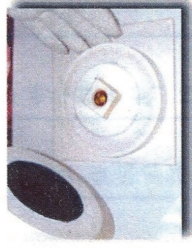
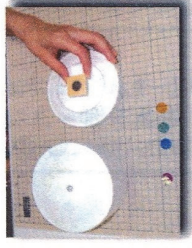
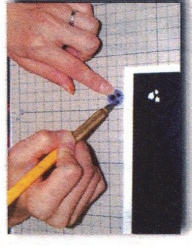
⑤ジュエリーをア-B0X5Eにボンドを、少量付けて接着します。  
※ボンドをたくさん付けるとはみ出てくるので注意して下さい。

⑥焼成後ガラスを棚板から外して好みのア-B0X5Eを取り付けて完成です。絵・文字入りのペンダント・ストラップの出来上がりです。

## BUF ダイクロ 編



●ア-B0X5Eのガラス板とガラスを加工したガラスで、文字や絵柄の入ったペンダントを作ります。



①φ16mmにカットしたガラスフリットをア-B0X5Eに、カット済みで作成したカットインシートや文字をUV露光処理したア-サーズクを貼り付けます。

②ア-サーズクSEで①のガラスフリットをア-サーズクSEで処理して絵柄を浮かべ彫ります。※ア-サーズクSEで処理の際には必ず安全メガネとマスクを着用して下さい。

③離型剤を塗った棚板JW3にガラスの1.5mm厚ガラスの黒や透明系青・緑を下地に入れて②のガラスフリットを重ねます。その上にア-B0X5E(フリット)を重ねます。

④ア-B0X5Eに③の棚板をセットして約6~7分焼成します。きれいに丸く焼けていたらゆっくりと蓋をしたまま冷まします。

⑤ジュエリーをア-B0X5Eにボンドを、少量付けて接着します。  
※ボンドをたくさん付けるとはみ出てくるので注意して下さい。

⑥きれいに仕上がったジュエリーをア-B0X5Eに接着します。ア-B0X5Eの穴の中に入れて約6~7分焼成します。きれいに丸く焼けていたらゆっくりと蓋をしたまま冷まします。